

藤田 隆則

◆著作活動

- * 2022.07 単著エッセイ「伝承を科学する—能楽における「不思議」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2022年夏季号（2022年7月1日）、p.4
- * 2022.09 単著エッセイ「伝承を科学する—モノローグ（独白）が描く心の風景『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2022年秋季号（2022年9月1日）、p.4
- * 2022.12 単著エッセイ「序破急のひろがり—雅楽から能へ」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2022年冬季号（2022年12月1日）、p.4
- * 2023.03 単著エッセイ「能楽における息込み」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2023年春季号（2023年3月1日）、p.4
- * 2022.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（30）—荘子の「無心」「道への合一」『楽報（都山流楽報）』1155号（2022年5月号）pp.2-3
- * 2022.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（31）—蝉の声の音風景」『楽報（都山流楽報）』1157号（2022年9月号）pp.7-8
- * 2023.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（32）—義太夫節礼賛—老人はなぜ帰するのか」『楽報（都山流楽報）』1159号（2023年1月号）pp.2-3

◆口述活動

- * 2022.11.10 講演「京都市西京区が舞台となっている謡曲」（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター（伝音セミナー2022年度第2回）京都市：京都市立芸術大学
- * 2023.02.11 能楽の部の解説「令和4年度今日の伝統文化体験事業「親子でも！ようこそ和の空間」金剛能楽堂、（2023年2月11日）
- * 2023.03.25 学会発表「能をつらぬく君臣関係とその変化」能楽学会大会、法政大学（2023年3

月25日)

◆プロデュース活動

なし

◆調査・取材活動

- * 謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

◆学内活動

- * 理事
- * 教育研究審議会委員
- * 国際交流委員会委員
- * 附属図書館・芸術資料館運営委員
- * 全学人事組織委員会委員
- * 大学院音楽研究科兼任（日本音楽研究専攻の授業担当）

◆対外活動

- * 奈良教育大学非常勤講師（2022.04-2022.09）
- * 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師（2022.09-2023.03）
- * 同志社大学文学部非常勤講師（2022.09-2023.03）
- * 令和4年度文化庁芸術祭審査員（演劇部門）
- * 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- * 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music、Society for Ethnomusicology

竹内 有一

◆著作

- * 2023.03.31 編著『常磐種 一天之巻（影印）』（常磐津節の伝承資料に関する調査報告書2022年度、文化庁補助事業）、常磐津節保存会、134pp
- * 2023.03 報告「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動」（公募研究成果報告）『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 Newsletter』13、pp.9, 24
- * 2022.05.23 発表要旨（研究発表（共同）「崇仁

の祭り囃子—もう一つの六斎念仏—」、東洋音楽学会西日本支部第 291 回定例研究会)、『東洋音楽学会 西日本支部だより』、pp.11-12

- * 2022.06.20 傍聴記(修士論文発表: 向田瑞貴「長唄《越後獅子》の楽曲の構造—他種目からの旋律の「引用」に着目して—」、東洋音楽学会東日本支部第 126 回定例研究会)、『東洋音楽学会 東日本支部だより』、p.4
- * 2022.05.14 解説「舞踊・地歌: 茶音頭」「舞踊・長唄: 新曲浦島」「舞踊・長唄: 天下るの傾城」、「出演者素描」(3名)、国立文楽劇場第 38 回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.4-8
- * 2021.03 調査報告(共著)『令和 2 年度「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」実施業務報告書』、未来工学研究所(文化庁委託事業)、124pp(2020 年度補遺)
- * 2022.06 調査報告(共著)『令和 3 年度「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」実施業務報告書』、未来工学研究所(文化庁委託事業)、112pp(2021 年度補遺)
- * 2023.03 調査報告(共著)『令和 4 年度「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」実施業務報告書』、未来工学研究所(文化庁委託事業)、94pp

◆講演・口頭発表等

- * 2022.10.08 対談「常磐津節の特徴と魅力」(常磐津文字太夫、常磐津都岳蔵)、常磐津節保存会第 7 回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2022.11.26 シンポジウム主催・司会「常磐津浄瑠璃本の板木研究をめぐって—演劇博物館所蔵坂川屋旧蔵資料より—」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点(オンライン)
- * 2022.11.26 研究発表「刊行された諸本との関係」(シンポジウム「常磐津浄瑠璃本の板木研究をめぐって—演劇博物館所蔵坂川屋旧蔵資料より—」、オンライン)
- * 2023.03.07 研究報告(鈴木英一氏と共同)「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動(2022 年度)」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点成

果発表会(オンライン開催)

- * 2023.03.20 司会・進行「映像視聴とおはなしの会 今藤政太郎 ぼくがいただいたたからもの in 大阪」(ゲスト: 桐竹勘十郎、尾上菊見)、今藤政太郎主催、国立文楽劇場小ホール

◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- * 2020.04-2024.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B) 20H01205「新出コレクション「西村公一文庫」の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」研究代表者
- * 2022.04-2024.03 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「常磐津節正本板元坂川屋の出版活動」研究代表者
- * 2022.04-2025.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「日本音楽研究における基礎的資料の再検討と新たな活用に向けて」研究代表者

◆調査・取材

- * 実演家 2 名への聞き取り調査(文化庁 伝統芸能用具・原材料に関する調査事業)
- * 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- * 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査
- * 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- * 詞章本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

◆メディア報道

- * 2021.08 インタビュー記事「大学と地域、そして研究」『5 TO 9』4、京都市、pp.1-3(2021 年度補遺)
- * 2022.02.12 インタビュー記事「崇仁の祭り囃子 脈々と」『京都新聞』、p.20(2021 年度補遺)
- * 2022.03.03 インタビュー記事「伝統「お囃子」大学の研究で再評価(水平社宣言 100 年 京都市立芸大移転へ)」『朝日新聞』京都版、p.21(2021 年度補遺)
- * 2022.11.02 インタビュー記事「邦楽学ぶ若者支援 国が本腰」『毎日新聞』夕刊

◆社会貢献活動

- * 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- * 「崇仁の祭り囃子」伝承支援（崇仁お囃子会主催月例稽古）
- * 2022.09.03 お囃子演奏と解説（崇仁お囃子会）、下京・京都駅前サマーフェスタ 2022（京都駅烏丸口エントランス）
- * 2022.10.29 お話「お囃子を通じた崇仁と京都芸大の交流」、構成と演奏「お囃子すうじん 2022」（囃子と芸大生のコラボ）、京都市立芸術大学芸大祭イベント（京都駅烏丸口エントランス）
- * 2022.11.05 お囃子演奏と解説（崇仁お囃子会）、崇仁文化祭（下京いきき活動センター）

◆演奏（常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津 若音太夫）

- * 2022.05.11 常磐津節「景清」「栗餅」、NHK-FM「邦楽のひととき」
- * 2022.06.13 常磐津節「関の扉」・箏曲「大海原」、無題の会 vol.24、アクロス福岡 円形ホール
- * 2022.07.23 常磐津節「釣女」、小都の会 vol.2、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2022.08.24-25 常磐津節「釣女」（歌舞伎）、第32回上方歌舞伎会、国立文楽劇場
- * 2022.08.27 常磐津節「釣女」（歌舞伎）、オンライン de 伝統文化教室
- * 2022.09.23 常磐津節「神路山色瑛」、小都の会 vol.3、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2022.09.25 常磐津節「鶴亀」「大森彦七」、第2回常磐津三之祐演奏会、大阪山本能楽堂
- * 2022.10.22 常磐津節「辰橋」「助六」「竹生島」、関西常磐津協会特別公演、出石永楽館
- * 2022.11.06 常磐津節「恨葛露濡衣」「乗合船」、常磐津の会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2022.11.23 常磐津節「伊賀越道中双六：印籠場」「千種埜恋の両道」、第81回常磐津節公演会（関西常磐津協会）、国立文楽劇場小ホール
- * 2022.12 常磐津節「年増」（歌舞伎）、顔見世大歌舞伎、京都南座
- * 2022.12.03 常磐津節「三世相錦繡文章：十万億

土、墮地獄」、無題の会 vol.27、東京日本橋コレド 室町3 橋楽亭

- * 2022.12.24 常磐津節「仮名手本忠臣蔵：二段目」、小都の会 vol.4、池坊短期大学洗心館「悠々」
- * 2023.01.09 常磐津節「松島」「将門」「雷船頭」「うつぼ猿」、常磐津部ミニコンサート（常磐津部展 2023）、京都市立芸術大学学生会館ホール
- * 2023.02.11 常磐津節「屋敷娘」、令和4年度 京の伝統文化体験事業「ようこそ和の空間」、金剛能楽堂
- * 2023.03.11 常磐津節「妹背山婦女庭訓～お三輪道行、姫戻り」、NHK-FM「邦楽百番」

◆教育・講義

- * 前期／後期 日本伝統音楽基礎演習 a1～4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期／後期 日本伝統音楽研究 a1～4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- * 前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部

◆所属学協会

- * （一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会
- * 常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

◆学外委員

- * 文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委員
- * 文化庁 伝統芸能用具・原材料に関する調査事業委員
- * 文化庁 邦楽普及拡大推進事業委員
- * 文化庁 近代以降に成立・発展した三味線音楽の実態調査委員
- * 京都市芸術文化特別奨励制度 審査委員会専門委員会委員
- * 京都市伝統芸能文化復元・活性化プログラム 審査会委員
- * 京都市伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員
- * 京都市舞台芸術企画運営委員会委員
- * 崇仁まちづくり推進委員会理事
- * （公社）文楽協会評議員

- * (一社) 東洋音楽学会 理事、西日本支部長、機関誌編集委員、大会実行委員

◆学内委員・役職

- * 京都市立芸術大学：教育研究審議会委員、移転担当委員、ギャラリーアクア運営委員会、理事長・副理事長選考委員
- * 日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、移転対策委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員長

田 敏 智 志

◆著述

- * 2023・03・31 『順次往生講式—平安後期・鎌倉期の管絃声歌つき講式の世界—』、日本伝統音楽研究センター研究叢書 3。

◆講演

- * 2022・11・24 Online 伝音セミナー「因幡の麒麟獅子舞は古代の犬舞《蘇芳菲》か!? — 犬から馬、獅子、そして麒麟になった舞」、Youtube 配信。

◆出演

- * 2022・12・25 「六斎念仏—おねんぶつのうた・ご先祖さまの追善供養—」実演と講演、於奈良県立図書情報館 1F 交流ホール。東佐味六斎念仏《ハクマイ—マエ・オク—》詠唱。

◆調査

麒麟獅子・日吉小五月会関連調査

- * 2022・04・03 日吉大社大榊神事
- * 2022・04・14 日吉大社山王祭例祭・渡御
- * 2022・05・15 紀州東照宮四百年式年大祭
- * 2022・06・05 玉若酢神社御霊会風流（隠岐の島町）
- * 2022・07・16-17 垂木の祇園祭（掛川市）民間雅楽団体（共同研究）調査
- * 2022・04・03 至誠雅楽会（日吉大社大榊神事）
- * 2022・04・14 至誠雅楽会（日吉大社山王祭例祭渡御）
- * 2022・05・05 松尾寺仏舞保存会（於松尾寺本坊、練習日）
- * 2022・06・26 均調社（守山市 諏訪家屋敷半

夏生鑑賞会コンサート）

- * 2022・06・30 伶人会（野洲市 御上神社夏越大祓式）
- * 2022・07・16-17 伶士（遠州森町 山名神社天王祭）
- * 2022・10・10 伶人会（野洲市 御上神社すいき祭）
- * 2022・11・16 均調社（守山市 赤野井西別院報恩講）
- * 2022・11・23 小篠原楽人（野洲市 新川神社新嘗祭）
- * 2022・12・10-11 香宝寺雅楽会（湯梨浜町 香宝寺報恩講）
- * 2022・12・18 均調社（於守山市 諏訪家屋敷、練習日）
- * 2023・01・11 中主町雅楽会〔井口雅楽会＋八夫雅楽会〕（於野洲市役所 2 階）
- * 2023・03・18, 21, 24 講明社（野洲市 錦織寺 彼岸法要）

◆奉仕

- * 2021・08・20 弥勒寺千本燈明会（六斎念仏奉仕、御所市東佐味）
- * 2021・09・23 弥勒寺彼岸会（六斎念仏奉仕、御所市東佐味）

◆学内活動

- * 担当科目：日本音楽史 I（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）
- * 自己点検評価委員会、学生委員会
- * 大学院修士入試委員会、教務委員会

◆ 対外活動

- * 東佐味六斎講代表（任期 2023 年 3 月まで）

武内 恵美子

◆著述活動

- * 武内恵美子・周耘「依据日本雅乐古谱复原唐代琴曲之研究」『音楽藝術』（上海音乐学院、2022 年 1 号 pp.76 - 82

◆学内活動

- * 担当科目：原典研究 I・III、日本伝統音楽演習 BI・

- III、日本伝統音楽演習 BII・IV、日本音楽史
- * 芸術資源研究センター副センター長、リポジトリ運営委員会、ハラスメント防止対策委員会、学術委員会、国際交流委員会、情報管理委員会

◆ 対外活動

- * 文化庁令和3年度芸術選奨推薦委員
- * 京都府立大学非常勤講師

◆ 科研費

- * 研究代表者 基盤 (C) 「江戸時代の藩校における音楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合的研究」(2016 - 2023、延長)
- * 研究分担者: 基盤研究 (B) 「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」(研究代表者: 竹内有一) 2020-2024 年度。

「股旅もの」芸能の研究」2019-2023 年度 (延長)。

- * 研究分担者: 国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」(研究代表者: 伊東信宏) 2019-2023 年度。
- * 研究分担者: 基盤研究 (B) 「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」(研究代表者: 竹内有一) 2020-2024 年度。

齋藤 桂

◆ 著述活動

- * 論文 'The Beat Movement and its Asian Influence as an Alternative to the American Dream', Michael Kearney ed. *100 Years of the American Dream: Representations and Conceptions in American Literature, 1919-2019*, Cambridge Scholars Publishing, 2022:124-140.
- * 書評: 小澤俊夫、小澤征爾、小澤幹雄『小澤征爾、兄弟と語る —— 音楽、人間、ほんとうのこと』『週刊読書人』2022 年 5 月 13 日号。
- * その他、時事通信に洋楽新譜紹介 24 件。

◆ 講演

- * 伝音セミナー「民俗／民族音楽とポピュラー音楽」(特別ゲスト: 伊東信宏)、2023 年 2 月 3 日。
- * ゲスト講演「伝統音楽とメディア」2022 年 7 月 14 日、於: 大阪大学。

◆ 対外活動

- * 日本音楽学会西日本支部委員
- * 所属学会: 日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

◆ 科研費

- * 研究代表者: 基盤研究 (C) 「近現代日本における